

審査意見への対応を記載した書類（6月）

資料目次

（資料 1-1）こども教育学部カリキュラムマップ

（資料 3-1）履修モデル①～⑦

（資料 5-1）担当教員変更に伴う授業内容の新旧対照表（シラバスより抜粋）

【履修モデル①】 小学校教諭一種免許状+特別支援学校一種免許状

区分	1年	2年	3年	4年	
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活			
	キャリア研究Ⅱ	農園演習			
	人権教育概論	国際理解（海外研修）			
	日本国憲法	バイオサイエンス			
	消費者行動論				
	英語Ⅰ				
	英語Ⅱ				
	化学				
	コンピュータリテラシーⅠ				
	コンピュータリテラシーⅡ				
	デジタルメディアリテラシー				
	健康スポーツ科学Ⅰ				
	健康スポーツ科学Ⅱ				
	18単位	7単位			
専門 教育 科目	教職に 関する 科目 (教科・ 指導法)	社会科教育論	国語科教育論	生活科教育概論	知的障害児の心理・病理・生理
		音楽教育理論	算数科教育論	生活科指導法	肢体不自由児の心理・病理・生理
		造形の理論	理科教育論	家庭科指導法	病弱児の心理・病理・生理
		音楽教育基礎(ピアノ)Ⅰ	家庭科教育論	知的障害児教育	視覚障害児教育総論
		こどもの造形Ⅰ	体育	知的障害児指導法	聴覚障害児教育総論
			英語科教育概論	肢体不自由児教育	
			国語科指導法	肢体不自由児指導法	
			社会科指導法	病弱児教育	
			算数科指導法	発達障害児教育総論	
			理科指導法		
		体育科教育実践法Ⅰ			
		英語科指導法			
	8単位	18単位	16単位	10単位	
	教職 科目 (基礎)	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築	総合的な学習の時間
		教職概論	初等科課程編成論	小学校教育実習	特別活動指導論
		学校運営と制度	こどもの理解と教育相談	小学校教育実習事前・事後指導	特別支援学校教育実習
		教育心理学	道德教育の理論と方法		特別支援学校教育実習事前・事後指導
		特別支援教育概論	教育方法論		保育・教育実践演習(保幼小)
			児童・生徒の生活と進路指導		保幼小連携論
10単位	12単位	7単位	11単位		
ゼミ ナール		ブレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ	
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ	
単位数計	36単位	36単位	27単位	25単位	

計

総取得単位数:124単位

【履修モデル②】幼稚園教諭一種免許状+保育士資格

区分	1年	2年	3年	4年	
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活			
	キャリア研究Ⅱ	農園演習			
	人権教育概論	society5.0の世界			
	日本国憲法	国際理解（海外研修）			
	消費者行動論				
	英語Ⅰ				
	英語Ⅱ				
	コンピュータリテラシーⅠ				
	コンピュータリテラシーⅡ				
	AI・データサイエンス入門				
	デジタルメディアリテラシー				
	健康スポーツ科学Ⅰ				
	健康スポーツ科学Ⅱ				
	17単位	7単位			
専門 教育 科目	教職 科目 （領域・ 指導法）	人間関係	健康	健康の指導法	こどもの表現（総合劇演習）
		環境	表現	表現の指導法	音楽教育応用（様々な楽器）
		言葉	環境の指導法	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅳ	こどもの食と栄養Ⅰ
		領域のねらい	人間関係の指導法	音楽教育応用（わらべうた）	こどもの食と栄養Ⅱ
		音楽教育理論	言葉の指導法	体育科教育実践法Ⅱ	
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	領域の指導法		
		こどもの造形Ⅰ	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅱ		
			音楽教育基礎（ピアノ）Ⅲ		
			こどもの造形Ⅱ		
			体育科教育実践法Ⅰ		
	12単位	12単位	5単位	4単位	
	教職 科目 （基礎）	教育原理	障がいと教育	幼稚園教育実習Ⅰ	特別活動指導論
		教職概論	こどもの理解と教育相談	幼稚園教育実習Ⅱ	保育・教育実践演習（保幼小）
		学校運営と制度	道徳教育の理論と方法	幼稚園教育実習事前・事後指導	保幼小連携論
		教育心理学	教育方法論	生活の中のジェンダー	
		特別支援教育概論	児童・生徒の生活と進路指導		
		教育課程・保育計画			
		12単位	10単位	7単位	6単位
	保育 士 科目	保育原理	こども家庭福祉演習Ⅰ	こども家庭支援の心理学	こども家庭支援論
		こども家庭福祉	こども家庭福祉演習Ⅱ	乳児保育Ⅱ	こどもの保健
社会福祉		社会的養護Ⅰ	こどもの健康と安全	発達心理学	
障害児保育Ⅰ		乳児保育Ⅰ	社会的養護Ⅱ	保育指導論	
		障害児保育Ⅱ	子育て支援	保育実習Ⅱ（保育所）	
			保育実習ⅠA（保育所）	保育実習指導Ⅱ（保育所）	
			保育実習ⅠB（施設）		
			保育実習指導Ⅰ		
7単位	7単位	12単位	11単位		
ゼミ ナール		プレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ	
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ	
単位数計	48単位	38単位	25単位	25単位	

総取得単位数：136単位

【履修モデル③】幼稚園教諭一種免許状+小学校教諭一種免許状

区分	1年	2年	3年	4年	
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活			
	キャリア研究Ⅱ	農園演習			
	人権教育概論	society5.0の世界			
	日本国憲法	国際理解（海外研修）			
	消費者行動論				
	英語Ⅰ				
	英語Ⅱ				
	コンピュータリテラシーⅠ				
	コンピュータリテラシーⅡ				
	AI・データサイエンス入門				
	デジタルメディアリテラシー				
	健康スポーツ科学Ⅰ				
	健康スポーツ科学Ⅱ				
	17単位	7単位			
専門 教育 科目	教職 科目 （領域・ 指導法）	人間関係	健康	生活科教育概論	こどもの表現（総合劇演習）
		環境	表現	健康の指導法	こどもの食と栄養Ⅰ
		言葉	国語科教育論	表現の指導法	こどもの食と栄養Ⅱ
		領域のねらい	算数科教育論	生活科指導法	ボディパーカッション教育Ⅰ
		社会科教育論	理科教育論	家庭科指導法	ボディパーカッション教育Ⅱ
		音楽教育理論	家庭科教育論		地域と学校
		造形の理論	体育		こどもと学校の歴史
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	英語科教育概論		
		こどもの造形Ⅰ	環境の指導法		
			人間関係の指導法		
			言葉の指導法		
			領域の指導法		
			国語科指導法		
			社会科指導法		
		算数科指導法			
		理科指導法			
		体育科教育実践法Ⅰ			
		英語科指導法			
		学級経営論Ⅰ			
	16単位	28単位	6単位	9単位	
	教職 科目 （基礎）	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築	総合的な学習の時間
教職概論		初等科課程編成論	幼稚園教育実習Ⅰ	特別活動指導論	
学校運営と制度		こどもの理解と教育相談	幼稚園教育実習Ⅱ	保育・教育実践演習（保幼小）	
教育心理学		道徳教育の理論と方法	幼稚園教育実習事前・事後指導	保幼小連携論	
特別支援教育概論		教育方法論	小学校教育実習		
教育課程・保育計画		児童・生徒の生活と進路指導	小学校教育実習事前・事後指導		
			生活の中のジェンダー		
12単位	12単位	14単位	8単位		
ゼミ ナール		ブレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ	
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ	
単位数計	45単位	48単位	22単位	21単位	

総取得単位数：136単位

【履修モデル④】幼稚園教諭一種免許状+小学校教諭一種免許状+特別支援学校一種免許状

区分	1年	2年	3年	4年	
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活			
	キャリア研究Ⅱ	農園演習			
	人権教育概論	国際理解（海外研修）			
	日本国憲法	バイオサイエンス			
	消費者行動論				
	英語Ⅰ				
	英語Ⅱ				
	コンピュータリテラシーⅠ				
	コンピュータリテラシーⅡ				
	AI・データサイエンス入門				
	デジタルメディアリテラシー				
	健康スポーツ科学Ⅰ				
	健康スポーツ科学Ⅱ				
	17単位	7単位			
専 門 教 育 科 目	教 職 に 関 す る 科 目 （ 教 科 ・ 指 導 法 ）	人間関係	健康	生活科教育概論	こどもの表現（総合劇演習）
		環境	表現	健康の指導法	こどもの食と栄養Ⅰ
		言葉	国語科教育論	表現の指導法	こどもの食と栄養Ⅱ
		領域のねらい	算数科教育論	生活科指導法	知的障害児の心理・病理・生理
		社会科教育論	理科教育論	家庭科指導法	肢体不自由児の心理・病理・生理
		音楽教育理論	家庭科教育論	知的障害児教育	病弱児の心理・病理・生理
		造形の理論	体育	知的障害児指導法	視覚障害児教育総論
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	英語科教育概論	肢体不自由児教育	聴覚障害児教育総論
		こどもの造形Ⅰ	環境の指導法	肢体不自由児指導法	
			人間関係の指導法	病弱児教育	
		言葉の指導法	発達障害児教育総論		
		領域の指導法			
		国語科指導法			
		社会科指導法			
		算数科指導法			
		理科指導法			
		体育科教育実践法Ⅰ			
		英語科指導法			
	16単位	26単位	18単位	13単位	
	教 職 科 目 （ 基 礎 ）	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築	総合的な学習の時間
教職概論		初等科課程編成論	幼稚園教育実習Ⅰ	特別活動指導論	
学校運営と制度		こどもの理解と教育相談	幼稚園教育実習Ⅱ	特別支援学校教育実習	
教育心理学		道徳教育の理論と方法	幼稚園教育実習事前・事後指導	特別支援学校教育実習事前・事後指導	
特別支援教育概論		教育方法論	小学校教育実習	保育・教育実践演習（保幼小）	
教育課程・保育計画		児童・生徒の生活と進路指導	小学校教育実習事前・事後指導	保幼小連携論	
			生活の中のジェンダー	地域と学校	
				こどもと学校の歴史	
				教育社会学	
12単位	12単位	14単位	17単位		
保 育 士 科 目					
ゼ ミ ナ ー ル		プレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ	
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ	
	計	1単位	2単位	4単位	
単位数計	45単位	46単位	34単位	34単位	

総取得単位数：159単位

【履修モデル⑨】 小学校教諭一種免許状+特別支援学校一種免許状+保育士資格

区分	1年	2年	3年	4年	
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活			
	キャリア研究Ⅱ	農園演習			
	人権教育概論	国際理解（海外研修）			
	日本国憲法	バイオサイエンス			
	消費者行動論				
	英語Ⅰ				
	英語Ⅱ				
	コンピュータリテラシーⅠ				
	コンピュータリテラシーⅡ				
	AI・データサイエンス入門				
	デジタルメディアリテラシー				
	健康スポーツ科学Ⅰ				
	健康スポーツ科学Ⅱ				
	17単位	7単位			
専門 教育 科目	教職に 関する 科目 （教科・ 指導法）	人間関係	健康	生活科教育概論	音楽教育応用（様々な楽器）
		環境	表現	生活科指導法	こどもの食と栄養Ⅰ
		言葉	国語科教育論	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅳ	こどもの食と栄養Ⅱ
		領域のねらい	算数科教育論	音楽教育応用（わらべうた）	知的障害児の心理・病理・生理
		社会科教育論	理科教育論	家庭科指導法	肢体不自由児の心理・病理・生理
		音楽教育理論	家庭科教育論	体育科教育実践法Ⅱ	病弱児の心理・病理・生理
		造形の理論	体育	知的障害児教育	視覚障害児教育総論
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	英語科教育概論	知的障害児指導法	聴覚障害児教育総論
		こどもの造形Ⅰ	領域の指導法	肢体不自由児教育	
			国語科指導法	肢体不自由児指導法	
			社会科指導法	病弱児教育	
			算数科指導法	発達障害児教育総論	
			理科指導法		
			音楽教育基礎（ピアノ）Ⅱ		
			音楽教育基礎（ピアノ）Ⅲ		
			こどもの造形Ⅱ		
		体育科教育実践法Ⅰ			
		英語科指導法			
	16単位	26単位	19単位	13単位	
	教職科 目（基礎）	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築	総合的な学習の時間
教職概論		初等科課程編成論	小学校教育実習	特別活動指導論	
学校運営と制度		こどもの理解と教育相談	小学校教育実習事前・事後指導	特別支援学校教育実習	
教育心理学		道徳教育の理論と方法		特別支援学校教育実習事前・事後指導	
特別支援教育概論		教育方法論		保育・教育実践演習（保幼小）	
教育課程・保育計画		児童・生徒の生活と進路指導		保幼小連携論	
12単位		12単位	7単位	11単位	
保育士 科目	保育原理	こども家庭福祉演習Ⅰ	こども家庭支援の心理学	こども家庭支援論	
	こども家庭福祉	こども家庭福祉演習Ⅱ	乳児保育Ⅱ	こどもの保健	
	社会福祉	社会的養護Ⅰ	こどもの健康と安全	発達心理学	
	障害児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	社会的養護Ⅱ	保育指導論	
		障害児保育Ⅱ	子育て支援	保育実習Ⅱ（保育所）	
			保育実習ⅠA（保育所）	保育実習指導Ⅱ（保育所）	
			保育実習ⅠB（施設）		
			保育実習指導Ⅰ		
7単位	7単位	12単位	11単位		
ゼミ ナール		プレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ	
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ	
単位数計	52単位	53単位	40単位	39単位	

総取得単位数：184単位

【履修モデル⑥】幼稚園教諭一種免許状+小学校教諭一種免許状+保育士資格

区分	1年	2年	3年	4年
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活		
	キャリア研究Ⅱ	農園演習		
	人権教育概論	society5.0の世界		
	日本国憲法	国際理解（海外研修）		
	消費者行動論			
	英語Ⅰ			
	英語Ⅱ			
	コンピュータリテラシーⅠ			
	コンピュータリテラシーⅡ			
	AI・データサイエンス入門			
	デジタルメディアリテラシー			
	健康スポーツ科学Ⅰ			
	健康スポーツ科学Ⅱ			
	17単位	7単位		
専門 教育 科目	人間関係	健康	生活科教育概論	こどもの表現（総合劇演習）
	環境	表現	健康の指導法	音楽教育応用（様々な楽器）
	言葉	国語科教育論	表現の指導法	こどもの食と栄養Ⅰ
	領域のねらい	算数科教育論	生活科指導法	こどもの食と栄養Ⅱ
	社会科教育論	理科教育論	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅳ	
	音楽教育理論	家庭科教育論	音楽教育応用（わらべうた）	
	造形の理論	体育	家庭科指導法	
	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	英語科教育概論	体育科教育実践法Ⅱ	
	こどもの造形Ⅰ	環境の指導法		
		人間関係の指導法		
		言葉の指導法		
		領域の指導法		
		国語科指導法		
		社会科指導法		
		算数科指導法		
		理科指導法		
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅱ		
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅲ		
		こどもの造形Ⅱ		
		体育科教育実践法Ⅰ		
		英語科指導法		
	16単位	29単位	9単位	4単位
	教職 科目 （基礎）	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築
教職概論		初等科課程編成論	幼稚園教育実習Ⅰ	特別活動指導論
学校運営と制度		こどもの理解と教育相談	幼稚園教育実習Ⅱ	保育・教育実践演習（保幼小）
教育心理学		道徳教育の理論と方法	幼稚園教育実習事前・事後指導	保幼小連携論
特別支援教育概論		教育方法論	小学校教育実習	
教育課程・保育計画		児童・生徒の生活と進路指導	小学校教育実習事前・事後指導	
12単位		12単位	12単位	8単位
保育 士 科目	保育原理	こども家庭福祉演習Ⅰ	こども家庭支援の心理学	こども家庭支援論
	こども家庭福祉	こども家庭福祉演習Ⅱ	乳児保育Ⅱ	こどもの保健
	社会福祉	社会的養護Ⅰ	こどもの健康と安全	発達心理学
	障害児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	社会的養護Ⅱ	保育指導論
		障害児保育Ⅱ	子育て支援	保育実習Ⅱ（保育所）
			保育実習ⅠA（保育所）	保育実習指導Ⅱ（保育所）
			保育実習ⅠB（施設）	
			保育実習指導Ⅰ	
7単位	7単位	12単位	11単位	
ゼミ ナール		プレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ
単位数計	52単位	56単位	35単位	27単位

総取得単位数：170単位

【履修モデル①】幼稚園教諭一種免許状+小学校教諭一種免許状+特別支援学校一種免許状+保育士資格

区分	1年	2年	3年	4年
基礎 教養 科目	キャリア研究Ⅰ	建学の精神と健康生活		
	キャリア研究Ⅱ	農園演習		
	人権教育概論	society5.0の世界		
	日本国憲法	国際理解（海外研修）		
	消費者行動論			
	英語Ⅰ			
	英語Ⅱ			
	コンピュータリテラシーⅠ			
	コンピュータリテラシーⅡ			
	AI・データサイエンス入門			
	デジタルメディアリテラシー			
	健康スポーツ科学Ⅰ			
	健康スポーツ科学Ⅱ			
	17単位	7単位		
専門 教育 科目	人間関係	健康	生活科教育概論	こどもの表現（総合劇演習）
	環境	表現	健康の指導法	音楽教育応用（様々な楽器）
	言葉	国語科教育論	表現の指導法	こどもの食と栄養Ⅰ
	領域のねらい	算数科教育論	生活科指導法	こどもの食と栄養Ⅱ
	社会科教育論	理科教育論	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅳ	知的障害児の心理・病理・生理
	音楽教育理論	家庭科教育論	音楽教育応用（わらべうた）	肢体不自由児の心理・病理・生理
	造形の理論	体育	家庭科指導法	病弱児の心理・病理・生理
	音楽教育基礎（ピアノ）Ⅰ	英語科教育概論	体育科教育実践法Ⅱ	視覚障害児教育総論
	こどもの造形Ⅰ	環境の指導法	知的障害児教育	聴覚障害児教育総論
		人間関係の指導法	知的障害児指導法	
		言葉の指導法	肢体不自由児教育	
		領域の指導法	肢体不自由児指導法	
		国語科指導法	病弱児教育	
		社会科指導法	発達障害児教育総論	
		算数科指導法		
		理科指導法		
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅱ		
		音楽教育基礎（ピアノ）Ⅲ		
		こどもの造形Ⅱ		
		体育科教育実践法Ⅰ		
		英語科指導法		
	16単位	29単位	21単位	14単位
	教職 科目 （基礎）	教育原理	障がいと教育	ICTを活用した授業構築
教職概論		初等科課程編成論	幼稚園教育実習Ⅰ	特別活動指導論
学校運営と制度		こどもの理解と教育相談	幼稚園教育実習Ⅱ	特別支援学校教育実習
教育心理学		道徳教育の理論と方法	幼稚園教育実習事前・事後指導	特別支援学校教育実習事前・事後指導
特別支援教育概論		教育方法論	小学校教育実習	保育・教育実践演習（保幼小）
教育課程・保育計画		児童・生徒の生活と進路指導	小学校教育実習事前・事後指導	保幼小連携論
12単位		12単位	12単位	11単位
保育 士 科目	保育原理	こども家庭福祉演習Ⅰ	こども家庭支援の心理学	こども家庭支援論
	こども家庭福祉	こども家庭福祉演習Ⅱ	乳児保育Ⅱ	こどもの保健
	社会福祉	社会的養護Ⅰ	こどもの健康と安全	発達心理学
	障害児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	社会的養護Ⅱ	保育指導論
		障害児保育Ⅱ	子育て支援	保育実習Ⅱ（保育所）
			保育実習ⅠA（保育所）	保育実習指導Ⅱ（保育所）
			保育実習ⅠB（施設）	
			保育実習指導Ⅰ	
7単位	7単位	12単位	11単位	
ゼミ ナール		プレゼミナール	ゼミナールⅠ	卒業研究Ⅰ
			ゼミナールⅡ	卒業研究Ⅱ
単位数計	52単位	56単位	47単位	40単位

総取得単位数：195単位

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：教育原理

新	旧
<p>教育について幾つかの根本的な原則があるが、それを明らかに知っていれば教育の全てのことについて間違いのない判断を下すことができると一般的に考えられる。しかし、教育の目的・方法・組織・効果などについて学問的に研究された結果のみを理解するだけでなく、それらを自分として統一的に把握しようとすることも大切である。そのためには、教育におけるさまざまな事象についての自分の見解をつなぎ合わせて把握することが大切である。また、教育における事象をあるがままにとらえること、動いているものとして生き生きと把握することが大切である。特に、初等教育に焦点を当てながらも、幼児期の教育や保育と密に関係していることも併せて学ぶ。</p>	<p>教育原理を学ぶことで、「現行の教育システム」がどのように生まれたかを欧州の歴史を中心に、政治・経済・社会・家族と教育との関係を俯瞰しながら、基礎的概念を修得し、代表的な教育思想について理解します。終盤は現代社会における教育的諸課題を、小グループでのディスカッションを採り入れ相互的・双方向的なやりとりをとおして、教育の基礎的概念や思想・理念を応用しつつ考察する力を培います。この授業では、教育の基本的諸概念を正確に修得し、教育の本質や理念を歴史的・社会的・思想的变化と関連づけながら理解します。また、授業者（山田）が実際に関わった教育発展途上国のカンボジア教育支援活動を例に挙げ「教育とは何か？」というテーマで教育や学校の役割を考え、考察する力を磨きます。現在の教育課題である、インクルーシブ教育の視点から実践力を養うために、教育の現場でよくある事例に対して演習問題を随所に取り入れ、実際の教育現場で発生しうるトラブルへの対応方法を学生グループで考えディスカッション及び事例研究発表をします。また、「ダイバーシティとインクルージョン」の視点からも、“インクルーシブ教育”の範囲として精神障害、身体障害、発達障害、特殊な家庭環境下(虐待など)、LGBTQ、外国籍などもテーマに取り上げます。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：人権教育概論

新	旧
<p>「ダイバーシティとインクルージョン」について人権教育の視点から理解を深め、教育者として身に付けておくべきインクルーシブ教育や合理的配慮を含めた人権について考える。また同和教育についても、歴的背景から学び部落差別の現実についても学習する。各時間ごとにテーマを決め、資料についてグループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションを行う。授業後、学んだこと関心をもったことに関してレポートをまとめる。</p>	<p>現代社会を生きる子どもと、子どもたちを取り巻く環境の検討から、人権感覚や認識を阻害している諸矛盾を解明することを目指す。</p> <p>そしてそこで明らかとなった今日的な課題を克服するのにふさわしい人権問題について研究活動を行い、その教訓について学びとる。</p> <p>そのことを通して、人権文化が根差す新しい民主的社会を形成していくことに貢献する教育のあり方を究明する。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：言葉

新	旧
<p>・領域「言葉」の目的と背景、教師の指導・支援の意味や必要性、役割について理解する。・幼稚園教育要領をはじめ保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等を読み比べ、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿など、広い角度から言葉指導に関する知識・技能を習得する。・指導計画の立案や模擬保育の構想等、実践的な場を意識し保育改善につながる問題解決能力を身に付け、アクティブラーニングによる意見交換(バズセッション・グループ・ペアワーク・ディスカッション・ディベート等)によって理解を深める。・視覚教材やICT学習を取り入れ、領域「言葉」と他領域との関連、小学校国語科へのつながり、配慮を要する子どもへの支援、幼稚園教育における評価の意味などを通して、保育実践の動向や現代的課題等を理解し保育構想の向上へと取り組む力を習得する。</p>	<p>教育要領を中心に、必要な部分は保育所指針も取り入れて、読み込み、領域「言葉」の持つ意義や機能、獲得のあり方等を理解するように概説する。少し専門的な書籍になるが、絵本の開発と絵本の持つ意味の説明や障害を克服した実話などの取り組み事例を提示しつつ、また、他の領域「人間関係」と「表現」との関係性も理解させ、いわゆる幼児期に育ってほしい十の姿のどの部分に深くかかわるか多くの方々の参考的文献も提示しつつ理解を進めてゆく。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：知的障害児の心理・病理・生理

新	旧
<p>最初に、知的障害の定義及び原因について説明する。次に、知覚・認知や言語・コミュニケーション等の特徴、知的障害と併存する発達障害、行動障害などについても言及する。さらに、実態把握の方法について扱い、保護者の心理や医療機関等との連携の在り方について説明する。</p>	<p>最初に、知的障害の定義及び併存症・合併症について説明する。次に、病理面、心理面及び生理面から、知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性などについて説明する。また、併存症である自閉症、合併症としてのてんかんについても言及する。最後に、実態把握の方法について扱い、家庭や医療機関との連携のあり方について説明する。</p>

授業科目の名称：肢体不自由児の心理・病理・生理

新	旧
<p>肢体不自由の原因疾患、筋骨格系の構造と機能、定型発達における姿勢・運動、認知、感情等の発達とその障害について学習する。また、肢体不自由児・者の発達段階に応じた支援の在り方や知的障害を伴う肢体不自由児の発達支援、ADL・QOLの向上に向けた支援について学習する。最後に、家庭や関係機関との連携に関する事項として、保護者支援やPT等の専門家との連携について学習する。</p>	<p>最初に、肢体不自由の定義及び起因疾患について説明する。次に、肢体不自由の代表的疾患である脳性まひを通して、病理面、心理面及び生理面から、障害の状態や認知の特性、姿勢や運動・動作の発達、感覚機能の発達などについて具体的に説明する。最後に、実態把握を踏まえ、家庭や医療機関との連携のあり方について説明する。</p>

授業科目の名称：病弱児の心理・病理・生理

新	旧
<p>最初に、病弱の定義や近年課題となっている発達障害を併せ有する心身症、適応障害等を含む主な疾患、教育の場、児童生徒の心理等について説明する。また、児童生徒の理解を踏まえ、病弱児の自己管理能力や周囲の理解などを育む教育支援を行うことができるよう、病弱児の心理・生理に関する基礎的知識について講義を行う。</p>	<p>最初に、病弱者の定義や病弱教育における医療との連携について説明する。次に、主な病気の理解、治療中の生活規制や児童生徒の心理などについて説明する。また、学校における医療的ケアに関して具体的に理解する。最後に、児童生徒の理解を踏まえ、家庭や学校間、医療、福祉及び保健機関との連携のあり方について説明する。</p>

授業科目の名称：知的障害児教育

新	旧
<p>知的障害の特性を踏まえた各教科等や自立活動の指導、学習・生活への意欲を育て、学習・生活環境を整えるための方法、個別の教育支援計画・指導計画の作成、カリキュラム・マネジメントを踏まえた授業設計・評価・改善の方法等を学ぶことによって、受講者が将来知的障害教育の実践に携わるために必要な知識を提供する。</p>	<p>最初に、関係する法令や特別支援学校学習指導要領に基づき、教育課程の理解を深める。次に、特別支援学校（知的障害）における教科の考え方、自立活動、道徳、特別活動について説明する。特に教育課程の編成は、各教科等の内容を選定し、組織し、授業時数を定めることの習得を図る。加えて重複障害児等に関する教育課程の取扱いについて、具体的に説明する。また、知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえた指導の形態について考え、教育課程の編成について实际的に学習を進める。最後に、個別の指導計画や教育課程の実施状況を踏まえたカリキュラム・マネジメントの考え方について説明する。</p> <p>なお、教育課程の基準となる特別支援学校学習指導要領及び解説に基づき、授業を進める。</p>

授業科目の名称：肢体不自由児教育

新	旧
<p>肢体不自由教育の歴史的背景、教育課程の特色、各教科や自立活動の指導における留意点、知的障害を伴う肢体不自由児に対する教科指導の在り方について、学習指導要領の記載事項を踏まえて学ぶ。また、学習指導案の検討や指導上の工夫、ICT機器の活用について学習する。最後に、特別支援学校（肢体不自由）におけるカリキュラム・マネジメントについて解説する。</p>	<p>最初に、関係する法令や特別支援学校学習指導要領に基づき、教育課程の理解を深める。次に、特別支援学校（肢体不自由）における教科の考え方、自立活動、道徳、特別活動について説明する。加えて重複障害児等に関する教育課程の取扱いについて説明する。特に肢体不自由のある児童生徒の障害の状態や特性等を踏まえた教育課程の取扱いについて考え、自立活動も視野に置きつつ、教育課程の編成について实际的に学習を進める。最後に、個別の指導計画や教育課程の実施状況を踏まえたカリキュラム・マネジメントの考え方について説明する。なお、教育課程の基準となる特別支援学校学習指導要領及び解説に基づき、授業を進める。</p>

授業科目の名称：肢体不自由児指導法

新	旧
<p>肢体不自由児の指導に関する知識と技法について学習する。特に、肢体不自由児の教科指導や知的障害を伴う際の配慮事項、自立活動の指導、日常生活の指導等について、基礎的知識の深化をはかる。また、肢体不自由児を対象とした授業の学習指導案について検討を行い、実践的指導力の礎を形成することを目標とする。</p>	<p>最初に、特別支援学校学習指導要領に示された教科の目標や内容と育成を目指す資質・能力の関連について説明する。前半は、肢体不自由のある児童生徒の障害特性について説明し、指導における配慮事項や具体的な工夫について考える。後半は、児童生徒の自立活動の授業づくりを行い、発表・討議する。また、各教科の目標や内容に基づき、自立活動の指導と関連付けた学習指導案について具体的に学ぶ。</p>

授業科目の名称：病弱児教育

新	旧
<p>病弱児教育の歴史的背景、医療との連携、教育課程の特色、各教科や自立活動の指導における留意点、発達障害を併せ有する心身症や適応障害等のある子ども達への対応について学ぶ。また、学習指導案の検討や指導上の工夫、ICT機器の活用について学習する。最後に、現在の特別支援学校（病弱）におけるカリキュラム・マネジメントについて解説し、協議を行う。</p>	<p>最初に、病弱児（身体虚弱児を含む）の多様な学びの場と多様な教育課程の編成について説明する。次に、病気や障害の状態、特性等のほか、入院の状況、医療や生活規制の状況を踏まえ、指導計画の作成や教科等の指導における配慮について説明する。また、病弱児の自立活動について考え、学習指導案を作成し、発表・討議する。最後に、家庭や医療、学校間との連携のあり方について説明する。</p>

授業科目の名称：視覚障害児教育総論

新	旧
<p>最初に視覚障害児の多様な学びの場と多様な教育課程について説明する。次に点字の仕組みと白杖歩行、弱視レンズなどについて概説する。また視覚障害のある児童生徒の教育における合理的配慮を含む支援について教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに視覚障害児に必要な自立活動の内容を説明し、授業づくりを考える。最後に、知的障害等を合併する視覚障害児の特性と指導の在り方、教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントについて説明する。</p>	<p>最初に視覚障害児の多様な学びの場と多様な教育課程について説明する。次に視覚障害の概要・分類・原因などについて概説する。また視覚障害のある児童生徒の教育における合理的配慮を含む支援について教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに視覚障害児に必要な自立活動の内容を説明し、授業づくりを考える。最後に多様な学びの場で提供できる教育機能と教育課程の編成、カリキュラム・マネジメントについて説明する。</p>

授業科目の名称：聴覚障害児教育総論

新	旧
<p>最初に聴覚障害児の多様な学びの場と多様な教育課程について説明する。次に聴覚障害の概要・分類・聞こえと言葉の発達などについて概説する。また聴覚障害のある児童生徒の教育における合理的配慮を含む支援について教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに聴覚障害児に必要な自立活動の内容を説明し、授業づくりを考える。最後に、知的障害等を合併する聴覚障害児の特性と指導の在り方、教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントについて説明する。</p>	<p>最初に聴覚障害児の多様な学びの場と多様な教育課程について説明する。次に聴覚障害の概要・分類・聞こえと言葉の発達などについて概説する。また聴覚障害のある児童生徒の教育における合理的配慮を含む支援について教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに聴覚障害児に必要な自立活動の内容を説明し、授業づくりを考える。最後に多様な学びの場で提供できる教育機能と教育課程の編成、カリキュラム・マネジメントについて説明する。</p>

授業科目の名称：発達障害児教育総論

新	旧
<p>学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症などといった発達障害のある幼児児童生徒の心理・生理的特性について解説するとともに、このような幼児児童生徒に対する適切なアセスメントと支援の在り方や特別支援学校のセンター的機能、教育課程とカリキュラム・マネジメントについての理解を深めることを目標とする。</p>	<p>最初に発達障害について概説し、小中学校の教育課程を基盤とする学びの場と特別の教育課程について説明する。次に発達障害児の感覚や認知及び行動の特性などを説明し、合理的配慮を含む必要な支援について、教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに各教科等の学びの過程における困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫について考え、発表・討議する。また発達障害児の自立活動について、具体的に説明する。最後に特別支援学校のセンター的機能について説明する。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：こどもと学校の歴史

新	旧
<p>学校は子どもたちのためにあるという基本認識から、常に子どもたちにとって安心安全な学校づくりが求められる。本授業では子どもたちが安心して授業が分かり、心と体の安心安全が確保されるように取り組んできた学校改善のあゆみについて学び、その意義となぜそのような取組がなされたのか、どのような効果があったのかという学校の歴史を学び、実際の教育現場での対応力と実践的な指導力の基礎を養っていく。</p>	<p>「学制 100 年史」等の資料に基づいて、江戸時代後期の教育から、平成 10 年頃以降の教育の大まかな流れを理解するとともに、その時代ごとの子供たちの置かれた状況を理解し、学校教育が子供の成長に果たしてきた効果について考察を深めることができるようにする。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：環境

新	旧
<p>子どもを取り巻く環境が、どのように子どもの成長・発達と関連するかを基本的な視点として、子どもにとって望ましい環境のあり方やかかわり方について、理論的・実践的に理解することを目指す。</p>	<p>領域「環境」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身につける。特に領域「環境」の指導の基礎となる、現代の幼児を取り巻く環境とその現代的課題、幼児と身近な環境との関わりの発達について学ぶ。</p>

授業科目の概要新旧対照表

授業科目の名称：知的障害児指導法

新	旧
<p>知的障害のある児童の教育課程の編成を基に、単元計画の作成、学習指導案の作成、教材研究について理解し、知的障害のある児童生徒に対する授業づくりを実際的に学び、ICT 機器等の積極的活用を通じた学習指導案を作成する。</p>	<p>最初に、特別支援学校学習指導要領に示された教科の目標や内容と育成を目指す資質・能力の関連について説明する。前半は、知的障害のある児童生徒の適応行動の困難性を踏まえた教育的対応について説明し、指導における配慮事項や具体的な工夫について考える。後半は、段階別に示された各教科の目標や内容に基づき、生活に結び付いた学習活動を中心とする学習指導案を作成し、発表・討議する。また、自立活動の授業づくりについて具体的に学ぶ。</p>

授業科目の名称：発達障害児教育総論

新	旧
<p>学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症などといった発達障害のある幼児児童生徒の心理・生理的特性について解説するとともに、このような幼児児童生徒に対する適切なアセスメントと支援の在り方や特別支援学校のセンター的機能、教育課程とカリキュラム・マネジメントについての理解を深めることを目標とする。</p>	<p>最初に発達障害について概説し、小中学校の教育課程を基盤とする学びの場と特別の教育課程について説明する。次に発達障害児の感覚や認知及び行動の特性などを説明し、合理的配慮を含む必要な支援について、教育内容・方法と施設・設備の観点から考える。さらに各教科等の学びの過程における困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫について考え、発表・討議する。また発達障害児の自立活動について、具体的に説明する。最後に特別支援学校のセンター的機能について説明する。</p>